

医学系研究の実施について

当院では以下の臨床研究を実施しております。

人を対象とする医学系研究においては、診療情報を利用させていただくことがあります。このような場合、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に基づき、対象となる患者さんから直接同意を頂く代わりに、研究に用いられる情報の利用目的を含むその研究についての情報を公開し、研究が実施されることについて患者さん(ご家族を含む)が拒否できる機会を保障することが必要とされています。

ご自身(ご家族を含む)の診療情報を研究に使用してほしくない方や、研究の内容について知りたいことがある場合は、各研究の情報公開文書に記載されている「お問い合わせ窓口」へご連絡下さい。なお、研究に使用してほしくない等の申し出を行うことを理由に、診療で不利益を受けることはありません。

課題名	消化器内視鏡に関連する疾患、治療手技データベース構築(多施設共同、前向き観察研究)
1. 研究の対象	2015年1月～2024年12月までに日本生命病院において内視鏡検査・治療を受けられた方
2. 研究目的・方法	<p>診療録より得た情報を収集・解析することで以下のことを明らかにします。</p> <ul style="list-style-type: none">●内視鏡関連手技を行っている施設診療科の特徴●医療水準の評価●適正な消化器内視鏡専門医の配置、ならびに消化器内視鏡技師、看護師などのコメディカルの適正な配置●早期癌登録に対する精確な情報収集●内視鏡検査、治療を受けた方の予後●内視鏡検査・治療の医療経済的な情報収集●これから内視鏡関連手技を受ける方の死亡・合併症の危険性、など <p>これにより、各施設は自施設の特徴や課題をはっきりと理解した上で、改善にとりくむことが可能になる。また施設単位だけでなく、医療圏レベル、地域レベル、全国レベルで医療の水準を明らかにすることで地域単位、国単位での比較が可能になる。さらに、内視鏡関連手技にともなうリスクを理解した上で、患者、患者家族とともに手術・治療の方針を決定することができるようになる。</p> <p>日本消化器内視鏡学会は、消化器内視鏡に関連した偶発症を1983年から5年毎に全国的に調査し、これまでに5回の発表を行ってきた。この様な個別調査を逐次行うことなく、容易に精確な諸情報が取得できる。加えて、適切な診療報酬決定のための情報提供が可能となると共に、全国の皆様が安心して内視鏡検査・治療を受けられるようにするため、よりよい専門医制度のあり方を検証するための基礎資料ともなり、さまざまな研究と連携して運営することで、臨床現場がさらに充実した医療を提供でき、ひいては新たな医療に取り組む手助けをすることができる。</p>
3. 研究に用いる 試料・情報の種類	研究に用いる情報についての詳細は下記PDFをご参照下さい。 http://www.iied-i.org/files/2018_rinri/7JED_Projectkoumokuhyo180608.pdf
4. 外部への 試料・情報の提供	収集した情報は匿名化のうえ、電子媒体にて日本消化器内視鏡学会 Japan Endoscopy Database (JED) Project 委員会へ提供します。提供した情報は委員会本部内のデータサーバへ集積されます。データ管理者、データ解析者以外の人間のデータサーバへのアクセスは禁じられています。
5. 研究組織	統括責任者: 日本消化器内視鏡学会 Japan Endoscopy Database (JED) Project 委員会 委員長 田中 聖人 (日本消化器内視鏡学会/京都第二赤十字病院) 電話番号: 03-3525-4670 研究協力機関は下記PDFをご参照ください(逐次追加予定) http://www.iied-i.org/files/2018_rinri/5kenkyukyouryokukikan180608.pdf
6. お問い合わせ先	公益財団法人日本生命済生会日本生命病院 消化器内科 部長 有坂 好史 住所: 〒550-0006 大阪市西区江之子島2-1-54 電話番号: 06-6443-3446(代表)

公益財団法人日本生命済生会日本生命病院 倫理委員会

倫理委員会承認番号: 2018-0058

表示期間 2024年12月31日まで

